



平成 27 年度第 1 号



理事長あいさつ

庄崎純理事長

普段、あまり季節を感じることの少ないサンフランシスコ・ベイエリアにいても、この入学式・始業式の日には、日本の春を思い出します。サンフランシスコ日本語補習校は、今年で 46 回目の入学式を迎えることとなりました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。進級された皆さん、進級おめでとうございます。皆さんは新しい一年の始まりを迎え、これからの学校生活の希望を胸に、補習校に通われていることだと思います。



さて、サンフランシスコ日本語補習校は、サンフランシスコ・ベイエリアに住む日本人の子どもたちに、将来日本に帰国した時に円滑に日本の文化、教育制度に溶け込むことができるよう、日本の公教育に準じた教育の機会を与えることを目的に、1968 年に創立されました。最初は、児童・生徒数 101 人、講師 5 人で教会を校舎として借用する形で始まりました。それから 45 年を経て、今では 1600 名を超す幼児・児童・生徒が、サンフランシスコ地区とサンノゼ地区の合わせて 4 つの校舎で学んでいます。またそれを支える教職員の数も約 120 名となり、今や世界最大規模の日本語補習授業校となりました。ですが、創立当時からの「我が子に日本の教育を受けさせたい」という熱い思いは、今でも変わることなく受け継がれています。

これまでの長い間、そしてこれからも、本校は多くの方々を支えられてここに 있습니다。在外教育施設に向けての教員の派遣や補助金といった、大きな支援をいただいております日本国政府。質の高い日本の教育を提供して下さる先生方、またそれを支えてくださる事務局の皆さん。そしてなんとといっても、当番・ボランティアなどで、平素より学校をサポートしてくださっている保護者の皆様。本年度もまた多くの皆様のご支援を賜りながら、学校運営の基本方針に従い、『確かな力を身につけ、国際社会に活躍する児童・生徒の育成』という教育目標に向かって、理事会・教職員そして保護者会が一丸となっ

て進んでまいりたいと考えています。また今年には特に、昨今のテロ等の治安情勢を踏まえ、外務省・総領事館の方々のご指導の下、幼児・児童・生徒がより安全に学べる学校となることを目指し、理事会として最大限の努力を尽くしてまいります。

皆様方には、これまでのご支援に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

そして、日本語による日本の教育を受けるだけでなく、日本の文化や作法・礼儀・道徳といった事まで身につけた子どもたちが、やがてサンフランシスコ日本語補習校を巣立ち、国際社会で、日米そして世界の架け橋となり活躍することを願っております。

校長あいさつ

市川貞男校長

平成 27 年度の経営方針から、重点目標をお知らせします。サンフランシスコ日本語補習校は、昨年度には年間を通して 1500 名を超えるという、規模の大きな学校となりましたが、教育の質を向上させ、よりよい教育環境を提供できるように、職員一同努力してまいります。保護者の皆様のご理解やご協力をお願い致します。



(1) 日本語力の向上

- ① 日本語力の基盤となる国語科授業を充実させます。
- ② 家庭教育と連携して、音読・読書・作文の奨励と習慣化に努めます。
- ③ 「学校はすべて日本語」を基本に、日本語によるコミュニケーション能力の向上をめざします。

(2) 生徒指導の充実

- ① 「あいさつ運動」の推進、授業規律の徹底など、基本的な生活習慣の育成に努めます。
- ② 学級経営を充実させ、自主自律の精神や思いやりの心を育成します。
- ③ 危険予知予防、迅速適切な初動対応を基盤とする安全教育の充実を努めます。

(3) 指導力の向上

- ① 指導事項の精選や重点化と、環境の構成や援助の仕方を工夫して、子供主体の保育・授業づくりを進めます。
 - ② 視聴覚教材を効果的に活用して、わかりやすい授業展開をめざします。
 - ③ 各校の研修や「一人1研究授業」、自主研修、保育研修、初任者研修を推進し、教員の授業力・生徒指導力の向上を図ります。
- ### (4) 校務運営の改善
- ① 教材や指導資料の共有化、事務の効率化を進め、効率的な校務運営をめざします。
 - ② 「家庭は第二の教室、保護者は第二の担任」として、保護者との連携を推進します。

新理事所感 (役員・五十音順)

柳原智子

(副理事長・総務委員長)

この三月にサンノゼ校高等部を卒業した長女と中学三年の次女とともに、私の補習校生活もだいぶ長くなりました。その間、24・25年度に理事を務めさせていただき、また今年度ご縁をいただきまして三年目の理事を仰せつかることになりました。子どもたちがアメリカで生活しながら日本語の読み書きのみならず、運動会や新年行事などを通し、日本の文化・伝統等に触れる機会が得られることは、将来、日米両国、または世界のかげはしになるであろう子どもたちにとっては、とても大切に貴重な経験だと思います。そんな貴重な機会を与えてくださる日本国政府をはじめ、事務局の皆様、諸先生方には大変感謝をしております。子どもたちが引き続きこのような機会を与えられるように、今後、補習校が益々発展していけるように、微力ではありますが最善の努力を尽くす所存です。そのためには「家庭は第二の教室、保護者は第二の担任」の言葉の通り、保護者の皆様のご理解・ご協力も賜らなければなりません。どうぞご支援の程宜しくお願い申し上げます。



姥谷幸一

(財務役・財務委員長)



姥谷 (うばたに) と申します。双子の息子達がサンノゼ校小学部に3年生として通っています。昨年度は保護者会の会計を担当させていただきました。本年度は新理事・財務委員長という貴重な役割

を経験する機会をいただきましたので、昨年とは異なる視点から学校運営に少しでも貢献したいと思っています。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

安井 哲也

(監査役・法規委員長)

小三の息子と小一の娘がサンノゼ校に通っております。昨年同様、理事会・法規委員会の所属になりました。より良い補習校環境を築くべく、引き続き学校便覧・法規の見直し・更新を行ってまいります。“子どもたちを「世界の架け橋に」という思いを忘れず補習校のために尽力してまいりますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。



有安 薫

2013年度にサンノゼ校保護者会から理事会に参加させていただき、昨年一年間はお休みをいただきましたが、本年度は理事として復帰することになりました。サンノゼ校小学部に五年生の息子が在籍しております。移り変わり行く世界の中で、我が補習校が質の高い日本語教育の場を提供し続けていけるように、微力ながらお手伝いさせていただきたく思っております。一年間どうぞ宜しくお願い致します。



桑原 ひとみ

今年度より、SF校保護者会副会長として理事会に参加させていただきことになりました。四年生と一年生になる息子達がお陰さまで楽しく補習校に通っております。一家庭での日本語教育の場から学校運営に携わることとなり、その規模の大きさと重さに身が引き締まる思いです。現地校と補習校の両立を頑張っている子どもたちに、努力が報われより良い未来が訪れますよう、微力ながらそのお手伝いができればと思っております。一年間どうぞよろしくお願い致します。



シノット 郁代

サンノゼ校に小一・小三・小五の三人の子どもたちがお世話になっております。サンノゼ校の保護者会から理事会に参加することになりました。国際社会の中でも「和」や「中



庸」を重んじる日本の重要性が増してきている今、複数の文化を知る補習校の子どもたちが「いつか世界のかけはしに」なれるような、誇りある日本人として育てて欲しいと願い、微力ながらお手伝いさせていただくことになりました。どうぞ年間宜しくお願い致します。

田中 佐智子

本年度、三期目の理事として最終年度になります。

中二の双子の息子と小四の娘を七年間支援して下さった諸先生方と学校関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちは未来を担う人材です。教育は永遠の財産であり、平和を導きます。その学び舎である補習校を守るため、微力ですが、お役に立てますよう力を注ぐつもりです。宜しくお願い申し上げます。



鶴巻 詩子

昨年度に引き続き理事会に参加させていただくことになりました鶴巻と申します。サンフランシスコ校に四年生と一年生の子どもたちがお世話になっております。とても大きくなったこのサンフランシスコ日本語補習校ですが、大きな学校だからこそ保護者の方と学校の運営に携わる皆さんが力を合わせなくては安定した運営や教育理念の達成は成り立っていきません。そのかけはしになりたいと願っております。宜しくお願い致します。



三木 千晴

サンノゼ校の保護者会役員からの参加です。補習校には小五の娘がお世話になっており、今年からは息子が一年生に入学することになりました。娘がなんとか日本語を維持しているのはひとえに補習校のおかげだと常に感謝しておりましたので、微力ながらも保護者会役員として子どもたちのために、そして理事として学校のためにお役に立てる機会を与えられたことをありがたく思っております。年間どうぞよろしくお願い致します。



中尾 文重



サンフランシスコ校保護者会長として理事会に参加させていただきます。1600 人もの子どもたちが通うこの補習校が、安全で楽しく学べる環境として継続できるように、そして2015年度も子どもたちにとって実り多き一年となるように、全力をあげて理事の職務に取り組む所存でございます。また、アメリカにしながら日本の語学と文化を学べる貴重な機会に恵まれた子どもたちに、いつか世界の架け橋となって活躍してくれることを心から期待しております。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

うちに、全力をあげて理事の職務に取り組む所存でございます。また、アメリカにしながら日本の語学と文化を学べる貴重な機会に恵まれた子どもたちに、いつか世界の架け橋となって活躍してくれることを心から期待しております。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

事務局よりお知らせ

Emergency Information フォーム提出およびデータベース入力について

Emergency Information のフォームは、日本語訳を参照の上、英語/ローマ字でご記入ください。緊急連絡先は、データベースの同項と同一内容で、優先順にご記入ください。これらの情報は、厳重かつ慎重に保管・取り扱いを行いますので、必要性をご理解いただき、至急担任に提出くださいますようお願い致します。

データベースは本校ウェブサイトからアクセスできます。ユーザー名およびパスワードを紛失された方は事務局へご連絡ください。新入生のご家庭には近日中に郵送いたします。なお、新入生がいる場合でも、既に在学生のいるご家庭は今までのユーザー名とパスワードがそのまま使用できますので、新しいものは郵送されません。ログイン後、既に入力されている情報を再度ご確認ください。入力が必要な事項は次の通りです。

- 自宅住所・電話番号・携帯電話番号
- 保護者勤務先情報
- E メールアドレス (保護者会からの連絡にも使用されますので、必ずご入力ください)
- 緊急連絡先情報
- 幼児・児童・生徒の健康保険情報
- 現地校情報
- 幼児・児童・生徒の身体上のことで知らせておくこと

データベースへのご入力・ご確認は4月17日までにお願い致します。緊急連絡、郵便物の発送、Eメールによる同報送信等はデータベースの情報に基づいて行われますので、入力漏れ/入力ミスのないようご注意ください。必要情報未入力/誤入力により生じた問題等には、補習校は一切の責任を負いかねますのでご了承ください

い。なお、何らかの理由によりデータベースへの自己入力が必要な方は、インフォメーション・フォームの提出が必要となりますので、事務局へご連絡ください。

なお、この「理事会通信やまなみ」は第二号からデータベース登録されている E メールアドレスにデジタル配信されます。

「誓約書」の提出について

4月11日、「学校生活のきまり」、「学習の約束」、「幼児児童生徒の義務および違反行為について」と一緒に「誓約書」を配付いたしました。子どもたちが楽しく仲良く日本語補習校の学校生活を続けていくためのものです。保護者の皆様とお子さまとでよくお読みいただき、「誓約書」に必要事項をご記入の上、至急担任に提出くださいますようお願い致します。

人事異動

退職	幼 SF 教員	酒井千佳子	3/31 付け
退職	幼 SF 教員	鈴木真那	3/31 付け
退職	小 SF 教員	酒井猛好	3/31 付け
退職	小 SF 教員	宮崎直子	3/31 付け
退職	小 SF 教員	小野孝太郎	3/31 付け
退職	幼 SJ 教員	浅野理子	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	森田昌代	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	堀郁代	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	ダムデレ邦代	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	板倉温子	3/31 付け
退職	幼小 SJ 用務	平野耕平	3/31 付け
退職	中高 SF 教員	トーマス郁子	3/31 付け
退職	中高 SF 教員	岩政久美子	3/31 付け
退職	中高 SF 教員	外尾尚美	3/31 付け
退職	中高 SF 教員	吉澤直人	3/31 付け
退職	中高 SJ 教員	有田和樹	3/31 付け
採用	幼 SF 教員	小澤史子	4/1 付け
採用	幼 SF 教員	嶋崎安記	4/1 付け
採用	幼 SJ 教員	和田瑞奈	4/1 付け
採用	幼 SJ 教員	アゼベド加奈子	4/1 付け
採用	小 SF 教員	ベイカーやよい	4/1 付け
採用	小 SF 教員	サンダース直美	4/1 付け
採用	小 SF 教員	阪本麻子	4/11 付け
採用	小 SF 教員	ルドフ泉美	4/1 付け
採用	小 SF 教員	福本規子	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	坂崎智子	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	小池雅代	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	金澤香	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	鶴池靖子	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	グリノ孝子	4/1 付け

採用	中高 SF 教員	田中嶋アイ	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	塩谷満優子	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	長井類子	4/1 付け

4月～5月の行事

日付	サンフランシスコ校	サンノゼ校
4/4(土)	入学式・始業式	入学式・始業式
4/11(土)		
4/18(土)	避難訓練	避難訓練
4/25(土)	保育/授業参観・学級懇談会(幼小部)	
5/2(土)		授業参観・学級懇談会(小学部)
5/9(土)		保育参観・懇談会(幼稚部)
5/16(土)	授業参観・学級懇談会(中高部) 高等部進学説明会(中高部)	授業参観・学級懇談会(中高部) 高等部進学説明会(中高部)
5/23(土)		
5/30(土)		運動会(幼小部)

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。発行人：庄崎純
 San Francisco Japanese School
 22 Battery Street #612, San Francisco, CA 94111
 電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542
 電子メール：理事会・事務局 office@sfjs.org
 学校 sfjs@sfjs.org
 ウェブサイト：<http://sfjs.org/>
 理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。
 無断複製・転載を禁ずる。©San Francisco Japanese School 2015
 All Rights Reserved.